

ときがわカンパニー通信

第89号

2025年9月9日発行
(2025年9月21日配布予定)

カラー版 | 特別号



はじめに

ときがわカンパニー（同）代表の、^{せきねまさひろ}関根雅泰です。

月1～2回の頻度で、この「ときがわカンパニー通信」を発行し、活動の様子を、皆さんと共有できたらと考えています。どうぞよろしくお願いします。

左の写真は、ときがわ町役場本庁舎前にある「ときがわ町起業支援施設 ioffice」です。

ときがわカンパニー合同会社がやっていること

ときがわカンパニー合同会社は、2016年1月に設立されました。

設立目的は、「ときがわ町に、人が集まり、仕事が生まれる」状態を創ることです。

そのために、「仕事を自ら創り出せる」ミニ起業家を支援し、

彼らが活躍する事で、ときがわ町や近隣地域に、どんどん新たな仕事が

生み出され、人が集まってくるような状態を創れればと考えています。

皆さんのご支援よろしくをお願いします。



比企起業大学 25 春「8月ゼミ」を開講しました

25 春生の
卒業レポートはこちら ▶



2025年8月22日（金）18時～20時、比企起業大学25春「8月ゼミ」を開講しました。講師陣、学部生との意見交換の場です。今回は、前回からのBS（ベイベーステップ）とその結果報告などを紹介いたします。

●24秋生の美里さんから、25春生へ一言交流会から5か月。Slackの中でやり取りさせてもらってきた。最初のスタート地点から、BSを一步一步進んでいく様子が、刺激になった。自分も24秋の卒業なので、まだ雛のような感じ。皆さんの頑張りに刺激を受けた。比企大の仲間ができる良さ。交流会でもお会いしたい。（美里さんは、25春生のワークシートを熟読し、コメントを下さっていました。励まされた25春生も多かったはず。ありがとうございました）

●たなかつさん <ベイベーステップ（BS）>

① ガラス彫刻のワークショップ2回目を計画する。② 次回のマルシェ出展に向けて、フロントエンド商品を企画し、製作する。

▶ ① 1回目が好評で、間をあげずに8月23日に鳩山マルシェで行う予定。前回3名、今回はちょっと人数が増える。前回参加者は、更に熱心になっている。もっとじっくり彫り込む

時間にしたいと。前回以上に満足頂けるよう、明日工夫したい。② フロントエンド商品の試行錯誤。珪藻土を使ったコースターで、表面に色ガラスをつける。ワークショップができるスペースや、音楽に関係するお店がないか、散歩しながら探している。

●サキさん <BS>

① 障がい児向けの子ども銭湯について、その目的・背景・対象者・活動内容などを整理しまとめる。できれば、言語化し人に説明できる形にまでもっていったら良いと思います。② ケアっこカフェについては、参加親子が安心して気持ちを吐き出せるよう、温かく安心できる場づくりと受け止める姿勢を準備する。

▶ ① 熊谷市の障害福祉課、お風呂を貸してくれそうな所にアプローチしたかったが、頭の中がごちゃごちゃ。ポイントを絞って的確に事業計画に落とし込めるように。美里さん（24秋）が協力してくれて、綺麗に分かりやすくまとめてくれた。もう少し一緒に深めていきたい。整理されてきて、少し慣れてきた。② ケアっこカフェは8月は開催がなかった。

●しばこーさん <BS>

① GoogleWorkspace登録のためのドメイン名を決定する。② できれば GoogleWorkspaceに登録する。

▶ 両方とも達成。Via Craft、道を作る。ドメインを取るのにお金がかかる。12か月。Google Workspaceも登録。看護師の方を、AIで支援。関根の紹介で知り合った方とミー

ティングした。プロトタイプを提供予定。

●小原さん <BS>

① 現在の絵本読者の傾向を調べる
② 図書館や出版関係の資料（年鑑）などを調べたり、書店でマーケティングする

▶ BS、忘れてしまっていた。

絵本は、出版件数が増えている。紙芝居も一定数は発行されている。地元の民話や出来事を、シニアの人がストーリーを考えて作っているそう。狭山市では、小学校で紙芝居のイベントを実施しているよう。語呂合わせ・リズム・オノマトペなど、ストーリーだけでなく、リズムカルな場面がある。ストーリー、絵本の在り方については、大学の先生に教わった。25日にあいかさんと、30日には美大の先輩と会う。アオバズクのひなが穴から顔を出している絵を描き、撮影者へのお礼にする。

●ヒロさん <BS>

① 8/29の課長職研修の準備に万全を期す
② 高校生にコーチングを届ける授業の構想の具体化を目指す

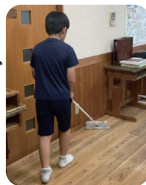
▶ ① ベテラン課長さん向け研修で、10名参加予定。教材も印刷済み。現場でチームを率いるヒントを提供できたら。② 代表者に提案をしてきた。9月にも提案を持っていく。12月に高校の先生に説明する機会を作れそう。都に提出後、来年度の事業に。NPO法人の代表が乗り気。事業としては、お金にならないが、フロントエンド商品として「良かったんで、他にない?」と言われる状態にしたい。

■ 発行： ときがわカンパニー合同会社 文責：関根雅泰（せきねまさひろ）
■ 住所： 〒355-0343 埼玉県比企郡ときがわ町五明1083-1
■ 電話・FAX： 0493-65-5700（すみません、外出が多い為、留守電にメッセージをお残し頂ければ、こちらからお電話します）
■ メール： m.sekine@learn-well.com（メールの方が連絡が取りやすく、ありがたいです）
■ URL： https://tokigawa-company.com/

第77回マナビバ! 本屋ときがわ町 v.3を開催しました

ときがわカンパニー代表の関根です。2025年8月17日（日）第77回「本屋ときがわ町」を開催しました。

土曜日午後、翌日の本屋に向けて、iofficeの掃除をしなくちゃな～と思いながら、暑いし正直、面倒くさい。「明日やればいいかな～」と思ったけれど、次男に「バイト代払うから」と誘ったら、「父ちゃんが、やる気ないなら、手伝うよ」と言ってくれた。「よっしゃ! 30分、集中してやろう!」ということで、一緒に掃き掃除、モップ掛け、机準備までできた。ありがとう!! 一人じゃ絶対無理だったよ。



午前は、風間さんによるブックカフェ「実は私、〇〇が好きなんです」を開催。

9時過ぎ、iofficeに行ったら、風間さん、ユカさん、A君が来てくれていました。皆で開店準備。暑さでバテそうなので、A君と近くの前澤さんに「くずぱー」を買いに。マンガー、チョコミント、カルピス、私は塩レモン。



10時オープン。山崎師匠@小川町が来てくれました。「町おこし」や「AI」について教えてもらい、「モノを作れるAIが人気」「分かり易さを求めすぎて、がつつり学ぼうとする人が少ない」という話は特に興味深かったです。

出店者紹介 ❶ Full本屋&トキノキオク舎 風間さんご夫妻。いつもの雑本と、子供が好きな絵本もあるそうです。❷小麦の奴隷 ときがわ町店さんによる美味しいパンの販売。

浅沼さん（比企大22秋・比企院8期）が来てくれました! ありがとうございます! 西澤さん@ときがわ町が来てくれました。NHKの大河



11時、ブックカフェ（ゆるい読書会）「実は私、〇〇が好きなんです」 by カザマスター（風間

さん）がスタート! 「実は偏愛しているものがある。好きなジャンルの本について楽しく語り合いましょう!」という会。今回のトップバッターは、私、関根から。最近ずつとはまっていた「歩く」本と、福岡空港からの帰路に読んだ「アマテラスの暗号」を紹介。

2番手は、浅沼さん。「空想科学読本」を紹介。一時期、ご家族ではまったそうです。アンパンマンの「アンパンチは不可能」という話を読んだ時、娘さんはショックを受けたそう。風間さんも読んだそうで「ゴジラの足はもっと太くない」という話がずっと印象に残っているそうです。本の内容、気になりますね!

昼に小麦の奴隷 ときがわ町店の葛西さんが来てくれました。「夏のおすめは、初恋レモンクリームパン」だそう



3番手は、山崎師匠。以前、平凡社に勤めていて、辞書も出版していた。百科事典があるかどうかで、総合出版社であるかどうかが決まる。辞書の中でも、はまったのがこの1冊「原色陶器大辞典」。「自分が調べた項目の前後を読むと、辞書は更に面白くなる」そうです。（編者付記：最近、「三浦しをん」さんの本「舟を編む」をドラマ化した、辞書編集部

のTV番組も放映されていましたね。）4番手、ユカさんの本「目でみる民俗学」。「あいまいさ、グレー、不安定な時間や空間に、心惹かれます」とのこと。

ラストの風間さんは「ほしいも学校」など、食についての5冊。「食」は学際的で、色々な視点から考えられて好き。きっかけは、幼少期に読んだ「美味しんぼ」とのこと。

12時頃、N君とお母さんが来てくれました。紙芝居を読んでほしくて図書館から借りてきたそうです。成長して紙芝居も集中して聞いて



てくれました。ほんと嬉しいですね。「紙芝居のおじさん」と思ってくれているのかも。ありがとう!! また来てね。金井さん（比企大23秋）が、お子さん連れで来てくれました。

13時過ぎ、「ときがわカヌー工房」の福田さんが来て下さいました! 通信も読んでいて、あいかさん（比企大23春）も、たまにカフェに来てくれるよ! とのこと。創業時のお話や、ときがわ町に



来てからのお話を伺いました。感謝!

14時50分頃、よしきさん（比企大21秋・比企院6期）が来て下さいました。最初、マスクとサングラスをかけていたので警戒しましたが、よしきさんでした～。「このために来たんですよ」と、嬉しいお言葉! よしきさんを始め、皆で片付けたら、5分で終わりました。山崎師匠、お忙しい中、長時間ご参加頂きありがとうございました!

ユカさんが「TC通信、来年の今頃には100号ですね。コツコツ続けるのって大事ですね」と言ってくれました。続けてこられたのは、編集の福島さん（1代目）、コニー（2代目）、ユカさん（3代目）、あいかさん（4代目）、配達してくれる新聞店の方々、読んでくれる地域の皆さんのおかげです。

福田さんからは、「始めてどのくらいになるの?」と訊かれ、思い返すと、ときがわカンパニーは2016年1月設立なので、今年で10年目でした。長かったような、あっという間のよう。これからも「ときがわ町に、人が集まり仕事が生まれる」状態を創る為に、仲間と共に進んでいきます。



